

2025年度生産性向上支援訓練オープンコース コース案内

主催：滋賀職業能力開発促進センター（ポリテクセンター滋賀）

（問い合わせ先）生産性センター業務課 TEL：077-537-1176

コース番号	001	訓練分野	D.データ活用－表計算ソフト活用
コース名	初めての表計算ソフト活用（Excel入門）		
正式な コース番号・ コース名	25-25-12-100-001 ※リーフレットには「コース番号」は左記の末尾3桁を記載しています。 表計算ソフトを活用した業務改善 ※正式なコース名は、上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。「コース名」は受講者募集用に設定したものです。助成金の手続きの際には正式なコース名を記載してください。		
開催日時	2025/4/16（水） 9：30～16：30（昼休憩 12：30～13：30） 受付開始 9：10 9：20までにご着席ください。オリエンテーションを行います。		
会 場	ユウコム草津校 滋賀県草津市若竹町8番10号 JR草津駅東口から徒歩6分、公共交通機関をご利用ください。 近隣に民間の有料駐車場有。 TEL：077-566-4114		
対 象 者	Excelをこれから初めて使う方、使い始めて日が浅い方 ●Excelで表の作成や四則演算の入力の経験がない方・経験の浅い方 ●「オートSUM」を使ったことがない方、あまり使っていない方 ●日本語入力、マウス操作ができる方		
習得する スキル等	●業務で必要となる表計算ソフトの各種用途 ●業務改善につながる活用方法		
ポイント	表計算ソフトについて、業務で必要となる各種用途に応じた実習を通して、業務改善につながる活用方法が習得できます。		
内 容	<p>1 表計算ソフト概要と基本操作</p> <p>① 表計算ソフトの概要と基本操作</p> <p>② データ入力方法</p> <p>③ 文字の装飾…色、フォントサイズ、フォントの種類</p> <p>④ 表の装飾…罫線、セルの塗りつぶし</p> <p>⑤ 移動と複写…移動と複写、オートフィル</p> <p>* 单元ごとに練習問題を設けています。</p> <p>2 文書作成ソフトと表計算ソフトの用途の違い</p> <p>① 表計算ソフトの得意分野…データの集計、グラフ作成</p> <p>② 文書作成ソフトの得意分野…仕様書や契約書などの書類作成</p> <p>* 单元ごとに練習問題を設けています。</p> <p>3 ワークシート活用</p> <p>① 基本的な計算式の入力…四則演算子、セル参照、オートSUM</p> <p>② グラフの作成…様々なグラフの作成、グラフの変更方法</p> <p>* 单元ごとに練習問題を設けています。</p> <p>【総合演習課題】</p>		

	① 見積書の作成 ② 日報の作成		
実施機関	株式会社ユウコム		
定員	15名	受講料	2,200円(税込)
使用ソフトウェア	Excel2019	実施機関・講師からのメッセージ	
持参品等	筆記用具	当校は、求職者の方を対象とする職業訓練も滋賀県から受託しています。担当講師は、10年以上の講師経験のほか、企業や学校での実務経験があります。オリジナルの問題演習を通し、講義内容の定着を図ります。	
備考	感染対策として次亜塩素酸水噴霧器を設置しています。マスク着用、消毒にご協力ください。		

2025年度生産性向上支援訓練オープンコース コース案内

主催：滋賀職業能力開発促進センター（ポリテクセンター滋賀）

（問い合わせ先）生産性センター業務課 TEL：077-537-1176

コース番号	002	訓練分野	D.データ活用－表計算ソフト活用
コース名	業務に役立つ表計算ソフトの関数活用（Excel中級A）		
正式な コース番号・ コース名	25-25-12-101-002 ※リーフレットには「コース番号」は左記の末尾3桁を記載しています。 業務に役立つ表計算ソフトの関数活用 ※正式なコース名は、上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。「コース名」は受講者募集用に設定したものです。助成金の手続きの際には正式なコース名を記載してください。		
開催日時	2025/4/22（火）・23（水） 9：30～16：30（昼休憩 12：30～13：30） 受付開始 9：10 9：20までにご着席ください。オリエンテーションを行います。		
会場	国際経営情報専門学校 滋賀県大津市打出浜11-15 JR膳所駅・京阪膳所駅から徒歩6分、公共交通機関をご利用ください。近隣に民間の有料駐車場有。 TEL：077-525-4572		
対象者	Excelの機能を使って業務を効率化したい方 ●これから関数（IF、COUNT、VLOOKUP、SUMIFなど）を使いたい方、使い始めて日が浅い方 ●Excelで表の作成・文字（日本語）入力・四則演算の入力や複写などの基本操作ができる方 ●「オートSUM」がわかる方		
習得する スキル等	●事務処理に必要なデータ処理における表計算ソフトの関数の効果的な活用方法		
ポイント	業務上使用頻度の高いと考えられる関数を中心に、活用方法と活用事例を解説し、演習に取り組みます。関数に不慣れな方や自己流で関数を使用してきた方も、効果的かつ効率的な関数の活用方法を身に付けられるよう工夫しています。		
内容	<p>1 データの処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な関数 関数の分類と種類、一般式とその活用事例 ・ 関数の活用法（相対参照、絶対参照、複合参照） 【演習】売上一覧表のデータ処理 <p>2 関数の実務活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 論理関数（IF、AND、OR等） 【演習】成績一覧表のデータ処理 ・ 検索関数（VLOOKUP、HLOOKUP等） 【演習】請求金額算出表のデータ処理 ・ データベース関数（DSUM、DAVERAGE、DCOUNT等） 【演習】得意先別商品別売上一覧表のデータ処理 ・ 統計関数（RANK、COUNTIF、SUMIF、AVERAGEIF等） 【演習】基礎学力検定一覧表のデータ処理 ・ 算術関数（ROUND、ROUNDDOWN、ROUNDUP等） 		

	<p>【演習】端数処理の練習課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ その他の関数（IFERROR、TODAY、MID等） エラー表示の回避、日付・時刻、文字列操作等 <p>【演習】会員リストのデータ処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合演習課題 <p>【演習】関数を活用したビジネス帳票類の作成</p>	
実施機関	学校法人大津文化学園	
定員	15名	受講料 3,300円(税込)
使用ソフトウェア	Excel2016	実施機関・講師からのメッセージ
持参品等	筆記用具	
備考	－	本校は滋賀県知事認可の専修学校で、実践的な職業教育及び専門的な技術教育を行う教育機関として、ビジネス社会で即戦力として活躍できるマルチな人材の育成に力を注いでおります。また、滋賀県より受託して公共職業訓練を毎年度実施しております。

2025年度生産性向上支援訓練オープンコース コース案内

主催：滋賀職業能力開発促進センター（ポリテクセンター滋賀）

（問い合わせ先）生産性センター業務課 TEL：077-537-1176

コース番号	003	訓練分野	B.生涯キャリア形成－役割の変化への対応
コース名	コーチングによる後輩指導		
正式な コース番号・ コース名	25-25-12-068-003 ※リーフレットには「コース番号」は左記の末尾3桁を記載しています。 後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割 ※正式なコース名は、上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。「コース名」は受講者募集用に設定したものです。助成金の手続きの際には正式なコース名を記載してください。		
開催日時	2025/5/21（水） 9：30～16：30（昼休憩 12：30～13：30） 受付開始 9：10 9：20までにご着席ください。オリエンテーションを行います。		
会 場	長浜商工会議所 滋賀県長浜市高田町12-34 さざなみタウン内 JR長浜駅から徒歩15分、JR長浜駅から湖国バス5分「さざなみタウン前」バス停から徒歩すぐ、さざなみタウン無料駐車場有 TEL：0749-62-2500		
対 象 者	中堅層・ベテラン層 ●自分が受けた指導は、平成育ちの後輩には通じないと感じている方 ●平成育ちの後輩に対する援助・指導の方法を知りたい方 ●主に45歳以上の方（45歳未満の方も受講できます。）		
習得する スキル等	●後輩従業員を指導するためのコーチング法 ●職場の課題解決に向けた先導的役割		
ポイント	職場環境の変化に合わせて、中堅・ベテラン従業員がこれまで培った経験を生かすのか否かを見極めた上で、後輩指導力発揮に必要なスキルを学び、実践することを訓練内容とした。		
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職場の課題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 職場の現状把握 職場を取り巻く環境の変化を振り返る ・ 職場の課題と解決のプロセス 課題解決に向けての優先順位を考える 【グループワーク】ケースを使って、課題解決のディスカッションを行う 2. 求められる役割 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己理解を深める 【セルフワーク・グループ討議】 エゴグラムによるコミュニケーションの傾向診断 ・ 役割を果たすには？ 時代や職場環境の変化・働き方の多様化について説明する 心理的安全性についてワークを通して理解を深める 3. ティーチングを活用した指導法 ティーチングが必要な場面とスキル 		

	<p>4. コーチングを活用した指導法 コーチングが必要な場面とスキル 【ロールプレイング】ケースを使って、後輩指導を実践し、 行動計画を作成する</p>		
実施機関	公益財団法人産業雇用安定センター 滋賀事務所		
定員	15名	受講料	3,300円(税込)
使用ソフトウェア	-	実施機関・講師からのメッセージ	
持参品等	筆記用具	人材の多様化により変化している後輩への指導法を習得しましょう。	
備考	-		

2025年度生産性向上支援訓練オープンコース コース案内

主催：滋賀職業能力開発促進センター（ポリテクセンター滋賀）

（問い合わせ先）生産性センター業務課 TEL：077-537-1176

コース番号	004	訓練分野	D.データ活用－表計算ソフト活用
コース名	効率よく分析するためのデータ集計（Excel中級C）		
正式な コース番号・ コース名	25-25-12-103-004 ※リーフレットには「コース番号」は左記の末尾3桁を記載しています。 効率よく分析するためのデータ集計 ※正式なコース名は、上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。「コース名」は受講者募集用に設定したものです。助成金の手続きの際には正式なコース名を記載してください。		
開催日時	2025/5/22（木） 9：30～16：30（昼休憩 12：30～13：30） 受付開始 9：10 9：20までにご着席ください。オリエンテーションを行います。		
会場	国際経営情報専門学校 滋賀県大津市打出浜11-15 JR膳所駅・京阪膳所駅から徒歩6分、公共交通機関をご利用ください。近隣に民間の有料駐車場有。 TEL：077-525-4572		
対象者	Excelの機能を使ってデータの集計を効率化したい方 ●これからExcelのデータベース機能を使いたい方、使い始めて日が浅い方 ●Excelで表の作成・文字（日本語）入力・関数の入力、複写などの基本操作ができる方		
習得する スキル等	●効率よく大量のデータを分析するための、表計算ソフトを活用したデータ集計手法		
ポイント	大量データを効率よく集計し分析するための土台となるデータ入力方法やデータフォーマットについて解説し、演習に取り組みます。データ作成からデータ集計まで一貫した表計算ソフトの活用方法を習得し、業務に活かせるよう工夫しています。		
内容	<ol style="list-style-type: none"> データ集約 <ul style="list-style-type: none"> 効率の良い集計の定義と見本 効率良く集計可能なフォーマットとは 【演習】正規化の演習課題 効率の良いデータ入力操作と使用できる機能 データ集計 <ul style="list-style-type: none"> データのグループ化と小計機能 【演習】販売管理表の集計処理 データの並べ替え データの抽出と抽出条件の設定 データ集計に役立つ機能 <ul style="list-style-type: none"> 名前の定義 集計に役立つ関数 【演習】販売管理表の集計処理 ピボットテーブル機能の紹介 【演習】販売管理表の集計処理 		

実施機関	学校法人大津文化学園		
定員	15名	受講料	2,200円(税込)
使用ソフトウェア	Excel2016	実施機関・講師からのメッセージ	
持参品等	筆記用具		
備考	-	本校は滋賀県知事認可の専修学校で、実践的な職業教育及び専門的な技術教育を行う教育機関として、ビジネス社会で即戦力として活躍できるマルチな人材の育成に力を注いでおります。また、滋賀県より受託して公共職業訓練を毎年度実施しております。	

2025年度生産性向上支援訓練オープンコース コース案内

主催：滋賀職業能力開発促進センター（ポリテクセンター滋賀）

（問い合わせ先）生産性センター業務課 TEL：077-537-1176

コース番号	005	訓練分野	A.生産管理－工程管理
コース名	生産計画と工程管理		
正式な コース番号・ コース名	25-25-12-004-005 ※リーフレットには「コース番号」は左記の末尾3桁を記載しています。 － ※正式なコース名は、上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。「コース名」は受講者募集用に設定したものです。助成金の手続きの際には正式なコース名を記載してください。		
開催日時	2025/5/27（火） 9：30～16：30（昼休憩 12：30～13：30） 受付開始 9：10 9：20までにご着席ください。オリエンテーションを行います。		
会 場	守山商工会議所 滋賀県守山市吉身3-11-43 JR守山駅西口徒歩15分、近江バス堅田行き（1番のりば）市役所前下車徒歩1分、埋蔵文化財センター行き（3番のりば）市民病院前元町北下車徒歩3分、守山商工会議所駐車場（無料）、守山市役所駐車場（有料） TEL：077-582-2425		
対 象 者	初任層・中堅層 ●生産計画の立て方と実現のための対策を学びたい方 ●納期短縮のための生産システムなどのノウハウを知りたい方		
習得する スキル等	●工程管理に必要な視点、生産計画・統制への柔軟な取り組み方 ●自社の納期管理を見直していくためのポイント		
ポイント	・生産管理の全体像と、その中での工程管理、生産計画の位置づけを理解していただきます。 ・グループディスカッションにより解決課題の進め方について学んでいただきます。		
内 容	1 工程管理の考え方 （1）生産管理全体像 ・生産管理全体像 ・在庫の持ち方と顧客の待ち時間 ・SCM（サプライチェーンマネジメント）の構築 （2）工程管理 ・工程管理とは（目的、管理対象） ・工程計画（生産日程計画） ・工程設計 ・工程統制と進捗管理、DX推進と人工知能活用 ・工程管理の関連知識 2 生産計画の立案と作成手順 （1）さまざまな生産形態、管理システム （2）需要変動管理 （3）生産計画 ・生産計画PSI ・生産日程計画		

	(4) 在庫管理 (5) リードタイム短縮 (6) 発注管理と納期管理 (7) 在庫削減と納期対応の両立 【演習】リードタイム短縮のための課題 【グループワーク】 <ul style="list-style-type: none"> ・課題抽出手法：ブレインライティング ・課題集約手法：親和図法 		
実施機関	パナソニックエレクトリックワークス創研株式会社		
定員	15名	受講料	3,300円(税込)
使用ソフトウェア	－	実施機関・講師からのメッセージ	
持参品等	筆記用具、電卓(スマホ)	知識やスキルの習得に加えて、職場ですぐに実践できるように、ポイントごとに個人やグループの演習を組み込んでいます。	
備考	－		

2025年度生産性向上支援訓練オープンコース コース案内

主催：滋賀職業能力開発促進センター（ポリテクセンター滋賀）

（問い合わせ先）生産性センター業務課 TEL：077-537-1176

コース番号	006	訓練分野	D.データ活用－表計算ソフト活用
コース名	業務に役立つ表計算ソフトの関数活用（Excel中級A）		
正式な コース番号・ コース名	25-25-12-101-006 ※リーフレットには「コース番号」は左記の末尾3桁を記載しています。 業務に役立つ表計算ソフトの関数活用 ※正式なコース名は、上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。「コース名」は受講者募集用に設定したものです。助成金の手続きの際には正式なコース名を記載してください。		
開催日時	2025/6/4（水）・5（木） 9：30～16：30（昼休憩 12：30～13：30） 受付開始 9：10 9：20までにご着席ください。オリエンテーションを行います。		
会 場	ユウコム草津校 滋賀県草津市若竹町8番10号 JR草津駅東口から徒歩6分、公共交通機関をご利用ください。 近隣に民間の有料駐車場有。 TEL：077-566-4114		
対 象 者	Excelの機能を使って業務を効率化したい方 ●これから関数（IF、COUNT、VLOOKUP、SUMIFなど）を使いたい方、使い始めて日が浅い方 ●Excelで表の作成・文字（日本語）入力・四則演算の入力や複写などの基本操作ができる方 ●「オートSUM」がわかる方		
習得する スキル等	●事務処理に必要なデータ処理における表計算ソフトの関数の効果的な活用方法		
ポイント	●表計算ソフトについて、効率よく事務処理を行うための機能・関数を各種用途に応じた演習を通して学び、効果的な活用方法を習得できます。		
内 容	<p>1 データの処理</p> <p>① 関数とは…関数とは、関数利用のメリット</p> <p>② 計算式の入力（合計・平均）…計算式による合計、平均の計算方法</p> <p>③ 絶対参照と相対参照…セル番地を利用した計算方法、相対参照、絶対参照</p> <p>④ 関数の基本…オートカルク、オートSUM、COUNTA関数 * 单元ごとに練習問題を設けています。</p> <p>2 関数の実務活用</p> <p>① 論理関数…IF関数、AND関数、OR関数、関数のネスト</p> <p>② 検索関数…VLOOKUP関数、HLOOKUP関数、CHOOSE関数</p> <p>③ 情報関数…PHONETIC関数、ISERROR関数、ISBLANK関数</p> <p>④ その他の関数…SUMIF関数、AVERAGEIF関数、COUNTIF関数 * 单元ごとに練習問題を設けています。</p> <p>【総合演習課題】</p> <p>① 売上表の作成</p>		

	② 現金出納帳の作成		
実施機関	株式会社ユウコム		
定員	15名	受講料	3,300円(税込)
使用ソフトウェア	Excel2019	実施機関・講師からのメッセージ	
持参品等	筆記用具		
備考	感染対策として次亜塩素酸水噴霧器を設置しています。マスク着用、消毒にご協力ください。	当校は、求職者の方を対象とする職業訓練も滋賀県から受託しています。担当講師は、10年以上の講師経験のほか、企業や学校での実務経験があります。オリジナルの問題演習を通し、講義内容の定着を図ります。	

2025年度生産性向上支援訓練オープンコース コース案内

主催：滋賀職業能力開発促進センター（ポリテクセンター滋賀）

（問い合わせ先）生産性センター業務課 TEL：077-537-1176

コース番号	007	訓練分野	A.バックオフィス－新技術活用
コース名	IT新技術の活用		
正式な コース番号・ コース名	25-25-12-093-007 ※リーフレットには「コース番号」は左記の末尾3桁を記載しています。 IT新技術による業務改善 ※正式なコース名は、上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。「コース名」は受講者募集用に設定したものです。助成金の手続きの際には正式なコース名を記載してください。		
開催日時	2025/6/6（金） 9：30～16：30（昼休憩 12：30～13：30） 受付開始 9：10 9：20までにご着席ください。オリエンテーションを行います。		
会場	ポリテクセンター滋賀 滋賀県大津市光が丘町3-13 JR石山駅から徒歩10分、京阪唐橋前駅から徒歩5分、無料駐車場有（事前予約不要） TEL：077-537-1176		
対象者	中堅層・管理者層 ●AIやRPAなどの機能や活用事例を知りたい方 ●自社に適したツールを知りたい方		
習得する スキル等	●第4次産業革命下における新技術を含めたITの活用 ●作業の自動化や共有能力の拡充等により新たな業務の合理化・迅速化 ●自社業務に適切な新技術を選定する知識		
ポイント	「どこから始めればいいのかわからない」「そもそもIT化やDXって何？」「AIは使えるの？」そんな悩みを抱えている方へ、まずデジタル化の流れを丁寧に紹介した上で、最新技術のトレンドや事例を交えて、分かりやすく解説します。自社ですぐに取り入れられる事例や現場を意識したワークを交え、また参加者にも現状や意見を共有していただきながら、学び、刺激を受け、IT新技術やAI、DX導入について目指すべき方向性やどのようなことをするのかを具体化していきます。		
内容	<p>1. 新技術の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> IT新技術の活用&DX導入の基礎 業務と価値提供の課題を解決する 生産性を上げるIT新技術の基礎知識 VR、AR、MR、IoT、AIなどの技術概要 【グループワーク】属人化を含め、課題を洗い出す 業務改善の基本 DXの3ステップと設計図をつくる デジタイゼーション、デジタルライゼーション、DX 【グループワーク】見えそうな場面やツールを話し合う <p>2. 新技術の導入事例</p> <ul style="list-style-type: none"> IT/AI利活用事例と事例紹介 気軽に使える身近なツール紹介とデモ 生成AIの主な用途紹介 		

	<p>RPAとAIの違い</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル化がうまくいかないよくある間違い 目的があいまいなまま進めてしまう、IT業者にお任せになっている 等 【グループワーク】 IT活用失敗例を話し合う 【グループワーク】 IT新技術導入を進める際の課題を考える プロジェクトマネジメントの基礎を理解する DXの鍵となるアジャイルな考え方とは？ ベンダーマネジメントの概要 		
実施機関	一般社団法人中部産業連盟		
定員	15名	受講料	3,300円(税込)
使用ソフトウェア	—	実施機関・講師からのメッセージ	
持参品等	筆記用具	<p>これまで累計100回以上、生成AIやDX導入研修を実施してきました。担当講師は長年にわたり、幅広い業界で研修を手掛けており、IT/AI初心者の方でも安心して取り組める内容をお届けします。研修では、業務に直結する具体的な事例や実践的な演習を通じ、IT/AIの可能性を体感していただけます。</p>	
備考	—		

2025年度生産性向上支援訓練オープンコース コース案内

主催：滋賀職業能力開発促進センター（ポリテクセンター滋賀）

（問い合わせ先）生産性センター業務課 TEL：077-537-1176

コース番号	008	訓練分野	D.データ活用－表計算ソフト活用
コース名	表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化（Excel上級）		
正式な コース番号・ コース名	25-25-12-107-008 ※リーフレットには「コース番号」は左記の末尾3桁を記載しています。 表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化 ※正式なコース名は、上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。「コース名」は受講者募集用に設定したものです。助成金の手続きの際には正式なコース名を記載してください。		
開催日時	2025/6/11（水）・12（木） 9：30～16：30（昼休憩 12：30～13：30） 受付開始 9：10 9：20までにご着席ください。オリエンテーションを行います。		
会場	ユウコム草津校 滋賀県草津市若竹町8番10号 JR草津駅東口から徒歩6分、公共交通機関をご利用ください。 近隣に民間の有料駐車場有。 TEL：077-566-4114		
対象者	Excelの機能を使って繰り返し作業を効率化したい方 ●マクロを使ったことがない方、使い始めて日が浅い方 ●IF関数の条件分岐がわかる方 ●マクロを使って、定型業務を効率化したい方		
習得する スキル等	●定型業務の自動化を実現するためのマクロの作成手法		
ポイント	●業務効率化のためにマクロを活用したい方のために、マクロの登録から基本のプログラミング、定型業務自動化に欠かせない条件分岐・繰り返し処理を習得し、実務で役立つ内容にしています。		
内容	<p>1 マクロの基本知識</p> <p>① マクロ記録</p> <p>② VBAとは</p> <p>③ プログラミング開発環境</p> <p>④ プログラミング作業の流れ</p> <p>* 单元ごとに練習問題を設けています。</p> <p>2 基本文法</p> <p>① モジュール、プロシージャ</p> <p>② オブジェクト、プロパティ、メソッド</p> <p>* 单元ごとに練習問題を設けています。</p> <p>3 制御文法</p> <p>① 条件分岐処理</p> <p>② 繰り返し処理</p> <p>* 单元ごとに練習問題を設けています。</p> <p>【総合演習課題】</p> <p>① 会員名簿プログラムの作成</p>		

② 売上管理プログラムの作成			
実施機関	株式会社ユウコム		
定員	15名	受講料	3,300円(税込)
使用ソフトウェア	Excel2019	実施機関・講師からのメッセージ	
持参品等	筆記用具		
備考	感染対策として次亜塩素酸水噴霧器を設置しています。マスク着用、消毒にご協力ください。	当校は、求職者の方を対象とする職業訓練も滋賀県から受託しています。担当講師は、10年以上の講師経験のほか、企業や学校での実務経験があります。オリジナルの問題演習を通し、講義内容の定着を図ります。	

2025年度生産性向上支援訓練オープンコース コース案内

主催：滋賀職業能力開発促進センター（ポリテクセンター滋賀）

（問い合わせ先）生産性センター業務課 TEL：077-537-1176

コース番号	009	訓練分野	A.生産管理－製品出荷・在庫管理
コース名	在庫管理システムの導入		
正式な コース番号・ コース名	25-25-12-007-009 ※リーフレットには「コース番号」は左記の末尾3桁を記載しています。 － ※正式なコース名は、上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。「コース名」は受講者募集用に設定したものです。助成金の手続きの際には正式なコース名を記載してください。		
開催日時	2025/6/17（火） 9：30～16：30（昼休憩 12：30～13：30） 受付開始 9：10 9：20までにご着席ください。オリエンテーションを行います。		
会場	ポリテクセンター滋賀 滋賀県大津市光が丘町3-13 JR石山駅から徒歩10分、京阪唐橋前駅から徒歩5分、無料駐車場有（事前予約不要） TEL：077-537-1176		
対象者	初任層・中堅層 ●在庫削減や在庫の適正化の方法を学びたい方 ●在庫管理システムを機能させたい方		
習得する スキル等	●在庫管理業務の意義と役割 ●在庫管理システムを正常に機能させるために在庫管理制度を維持する方法や他の管理システムの計画情報との連動		
ポイント	・「最適在庫」実現に向けて必要となる職務知識を習得していただきます。 ・在庫管理についての基本的な考え方と関連知識を習得していただきます。 ・適正在庫に向けた基本的アプローチと対応事項について学んでいただきます。		
内容	<p>1 在庫管理について</p> <p>(1) 在庫管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在庫とは ・在庫の必要性 ・在庫はなぜ発生するのか ・在庫目標設定 ・在庫の考え方と種類 ・在庫管理とは ・在庫区分の考え方 <p>(2) 在庫状況の分析 【セルフワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在庫評価指標 ・回転在庫 ・T型マトリクス分析 ・不必要在庫の発生原因事例と対応事例 ・在庫日数、在庫金額 ・ABC分析 ・分析による在庫削減手順 <p>【演習①】在庫回転率、在庫回転期間、在庫日数</p> <p>2 在庫管理システム</p> <p>(1) リードタイムについて 【セルフワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リードタイムとは ・リードタイムの短縮 ・リードタイムの長いものの扱い方 ・リードタイムの明確化 <p>【演習②】リードタイム比較</p> <p>(2) 現場における在庫削減</p>		

	<ul style="list-style-type: none"> ・現場・現物からの着手及び制約条件の見直し ・5Sの実践 ・発注方式の見直し 		<ul style="list-style-type: none"> ・在庫量の把握 ・在庫削減の進め方 	
	<p>(3) 発注管理の考え方 【セルフワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適正在庫の実現 ・適正在庫と発注管理 ・安全在庫 <p>【演習③】安全在庫試算</p>			
	<p>(4) 在庫品管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・棚卸の目的 ・棚卸の種類 ・棚卸を行う上の注意点 			<ul style="list-style-type: none"> ・棚卸の方法 ・棚卸の手順
	<p>(5) 在庫管理システム 【グループ討議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在庫管理システムの機能 ・在庫管理システムの維持 <p>【討議】適正在庫実現に向けた具体的取組み</p>			
実施機関	パナソニックエレクトリックワークス創研株式会社			
定員	15名	受講料	3,300円(税込)	
使用ソフトウェア	－	実施機関・講師からのメッセージ		
持参品等	筆記用具、電卓(スマホ)	知識やスキルの習得に加えて、職場ですぐに実践できるように、ポイントごとに個人やグループの演習を組み込んでいます。		
備考	－			

2025年度生産性向上支援訓練オープンコース コース案内

主催：滋賀職業能力開発促進センター（ポリテクセンター滋賀）

（問い合わせ先）生産性センター業務課 TEL：077-537-1176

コース番号	010	訓練分野	B.組織マネジメントー組織力強化
コース名	職場のリーダーに求められる統率力の向上		
正式な コース番号・ コース名	25-25-12-061-010 ※リーフレットには「コース番号」は左記の末尾3桁を記載しています。 - ※正式なコース名は、上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。「コース名」は受講者募集用に設定したものです。助成金の手続きの際には正式なコース名を記載してください。		
開催日時	2025/6/24（火） 9：30～16：30（昼休憩 12：30～13：30） 受付開始 9：10 9：20までにご着席ください。オリエンテーションを行います。		
会場	守山商工会議所 滋賀県守山市吉身3-11-43 JR守山駅西口徒歩15分、近江バス堅田行き（1番のりば）市役所前下車徒歩1分、埋蔵文化財センター行き（3番のりば）市民病院前元町北下車徒歩3分、守山商工会議所駐車場（無料）、守山市役所駐車場（有料） TEL：077-582-2425		
対象者	中堅層・管理者層 ●リーダーシップについて学びたい方 ●チームワークを牽引できる能力を習得したい方 ●部下の強みをもっと発揮させたい方		
習得する スキル等	●職場の生産性を向上するために必要となる各種経営組織や形態に対応できる管理機能 ●職位に応じた組織を統率するための能力 ●職場のチームワークを牽引できる能力		
ポイント	職場のリーダーに必要な能力を解説し、チームワークとコミュニケーション、リーダーシップとフォロワーシップ等、統率力を向上させる方法を演習を交えて理解していただきます。		
	<p>1 組織の管理</p> <p>（1）組織マネジメントの基本【セルフワーク/グループワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織とは、5つの管理原則、統率力とリーダーシップなど <p>【演習】組織やチームで働く意味から統率力を考える</p> <p>（2）人の成長の仕組み【セルフワーク/グループワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統率力に必要な人材育成に迷ったときの羅針盤（成人発達心理学） <p>【演習】意識の発達段階の理解</p> <p>2 職場の生産性と統率力</p> <p>（1）変化するリーダーシップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs、EDIに沿ったリーダーとは？ ・従業員エンゲージメント、社員の力を解放することの必要性 <p>（2）生産性と統率力向上のカギ【ロールプレイング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産性と統率力向上のカギは共通の考えやメリット <p>【演習】共通の考えやメリットを見出す</p>		

内 容	<p>3 職場の情報伝達</p> <p>(1) アサーティブな情報伝達【ロールプレイング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アサーティブに伝える（事実を基に率直に伝える） <p>【演習】アサーティブなコミュニケーション</p> <p>(2) アサーティブに聴く【ロールプレイング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事実を率直に聴く ・メンタリングを通して気づきや勇気を与える ・傾聴する、共に成長する ・ティーチングのポイントはやりっぱなしにしないこと <p>【演習】傾聴練習、しっかり聴いてフィードバック</p> <p>(3) コーチング【ロールプレイング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指示的にならない指導法で自律的成長をめざす ・GROWモデルで、構想に近づく支援を行う（構想確認、ギャップ把握、選択の議論） <p>【演習】GROWモデルでコーチング体感</p> <p>(参考) アサーティブ</p> <p>「assertive」の和訳は「断定的な」「言い張る」ですが、このコースで学ぶ「アサーティブ」は、自分の言いたいことを一方的に伝えるのではなく、相手の気持ちや考えを尊重し、自分の気持ちや考えを相手にまっすぐ伝わるよう適切に表現する、自分も相手も尊重するコミュニケーションの方法です。</p>		
実施機関	パナソニックエレクトリックワークス創研株式会社		
定 員	15 名	受 講 料	3,300 円 (税込)
使用ソフトウェア	－ 実施機関・講師からのメッセージ		
持参品等	筆記用具		
備 考	－ 知識やスキルの習得に加えて、職場ですぐに実践できるように、ポイントごとに個人やグループの演習を組み込んでいます。		

2025年度生産性向上支援訓練オープンコース コース案内

主催：滋賀職業能力開発促進センター（ポリテクセンター滋賀）

（問い合わせ先）生産性センター業務課 TEL：077-537-1176

コース番号	011	訓練分野	B.組織マネジメントー組織力強化
コース名	現場社員のための組織行動力向上		
正式な コース番号・ コース名	25-25-12-058-011 ※リーフレットには「コース番号」は左記の末尾3桁を記載しています。 - ※正式なコース名は、上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。「コース名」は受講者募集用に設定したものです。助成金の手続きの際には正式なコース名を記載してください。		
開催日時	2025/7/10（木） 9：30～16：30（昼休憩 12：30～13：30） 受付開始 9：10 9：20までにご着席ください。オリエンテーションを行います。		
会場	ポリテクセンター滋賀 滋賀県大津市光が丘町3-13 JR石山駅から徒歩10分、京阪唐橋前駅から徒歩5分、無料駐車場有（事前予約不要） TEL：077-537-1176		
対象者	初任層・中堅層 ●経営的な視点を持って、業務改善に関わりたい方 ●現場の問題発見方法と改善策を知りたい方 ●主体的に考え行動し、上司の補佐・後輩の育成を行いたい方		
習得する スキル等	●企業の仕組み、業界の背景、経営者の視点 ●上司の補佐や後輩の育成を行い、生産性向上のために必要なビジネス感覚 ●自ら主体的に社内の問題発見・業務改善を現場から発信するために必要なスキル		
ポイント	自ら部門を率いて成果を出し続けられる責任者になることを目標とし、担当分野という視点のみでなく経営レベルで考え行動できるように、現場力や組織行動力を身につけていただけるようなカリキュラム構成にしました。		
内容	<p>1 企業組織と生産活動</p> <p>（1）ビジネス環境の変化を捉える【セルフワーク/グループ討議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちのビジネス環境の変化 ・情報の重要性～活かし方 <p>【演習】情報の収集・活用について</p> <p>（2）社会における自社の社会的責任【セルフワーク/グループ討議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会社とは？ 社会的責任とは？ ・自社の経営理念～経営理念の意義 ・会社の階層構造と各階層の役割 <p>【演習】自社の経営理念について</p> <p>【演習】自身の仕事理念・信条・ポリシーについて</p> <p>2 状況変化に対応する現場力</p> <p>（1）主体性と行動力を高める【グループ討議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体性・行動力とは？ <p>（2）主体性と行動力を成果につなげる</p> <p>（3）成果につなげるための企画・提案力を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画・提案力とは～企画提案のプロセス 		

	<p>3 フォロワーシップと組織行動力</p> <p>(1) チームワーク力を高める【セルフワーク/グループ討議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームワークとは ・チームワークのメリット・阻害要因 ・リーダーシップとフォロワーシップ <p>【演習】私の職場のチームワーク度は？</p> <p>(2) コミュニケーション（双方向対話）力を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション（双方向対話）の重要性 ・ビジネスコーチングの活用 		
実施機関	パナソニックエレクトリックワークス創研株式会社		
定員	15名	受講料	3,300円（税込）
使用ソフトウェア	－	実施機関・講師からのメッセージ	
持参品等	筆記用具	知識やスキルの習得に加えて、職場ですぐに実践できるように、ポイントごとに個人やグループの演習を組み込んでいます。	
備考	－		

2025年度生産性向上支援訓練オープンコース コース案内

主催：滋賀職業能力開発促進センター（ポリテクセンター滋賀）

（問い合わせ先）生産性センター業務課 TEL：077-537-1176

コース番号	012	訓練分野	A.バックオフィス・クラウド・IoT導入
コース名	経理業務のDX化		
正式な コース番号・ コース名	25-25-12-130-012 ※リーフレットには「コース番号」は左記の末尾3桁を記載しています。 経理業務の効率化につながるDXの実践 ※正式なコース名は、上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。「コース名」は受講者募集用に設定したものです。助成金の手続きの際には正式なコース名を記載してください。		
開催日時	2025/7/11（金） 9：30～16：30（昼休憩 12：30～13：30） 受付開始 9：10 9：20までにご着席ください。オリエンテーションを行います。		
会場	ポリテクセンター滋賀 滋賀県大津市光が丘町3-13 JR石山駅から徒歩10分、京阪唐橋前駅から徒歩5分、無料駐車場有（事前予約不要） TEL：077-537-1176		
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ● 経理業務のDX化に向けた手段・方法・進め方を学びたい方 ● 経理業務の問題点を把握したい方 		
習得する スキル等	<ul style="list-style-type: none"> ● 法改正など経理分野を取り巻く環境の変化や、変化に対応する経理業務のデジタル化に向けた手法 ● 自社に合ったシステムの導入方法 		
ポイント	経理業務のDX化に必要な考え方から、経理現場に使われている様々なツールも紹介し、自職場のDX化を考えるきっかけを作ります。		
内容	<p>1. 経理業務の現状と課題</p> <p>（1）法改正など経理業務を取り巻く環境の変化の理解</p> <p>（2）経営上の問題点</p> <p>（3）経理業務のDX化の必要性</p> <p>【事例紹介】経理業務のDX全体像、会計ソフトと機械学習など</p> <p>2. 業務を改善する手法と手順</p> <p>（1）現場の業務とデータの流れを可視化する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務フロー図を作成する手法の解説 <p>【グループワーク】事例に基づいて業務を可視化</p> <p>【グループワーク】業務プロセスのムダを発見</p> <p>（2）業務プロセスのあるべき姿を可視化する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解決策の導き方の解説 <p>【グループワーク】ムダを除いた業務のあるべき姿を可視化する</p> <p>【グループワーク】具体的な解決策の発案</p> <p>【個人ワーク】自職場の業務改善（演習）</p> <p>3. ツール・システムの導入（DXの実践）</p> <p>（1）業務における導入、活用事例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DXに必要なステップの紹介、OCR・RPA・クラウド会計等ツール紹介 		

	(2) 導入手順 ・ 導入ステップの解説と導入後システム評価手法の解説 【個人ワーク】 自職場にあったDXツールの選定演習		
実施機関	一般社団法人中部産業連盟		
定員	15名	受講料	3,300円(税込)
使用ソフトウェア	—	実施機関・講師からのメッセージ	
持参品等	筆記用具	経理業務の効率化の目的から業務改善活動の進め方へ、段階的に講義します。経理現場で活用されることの多いDXツール等の解説を通じて、自職場のDX化を考える機会となることを目指します。	
備考	—		

2025年度生産性向上支援訓練オープンコース コース案内

主催：滋賀職業能力開発促進センター（ポリテクセンター滋賀）

（問い合わせ先）生産性センター業務課 TEL：077-537-1176

コース番号	013	訓練分野	B.生涯キャリア形成－技能・ノウハウ継承
コース名	効果的なOJTを実施するための指導法		
正式な コース番号・ コース名	25-25-12-078-013 ※リーフレットには「コース番号」は左記の末尾3桁を記載しています。 － ※正式なコース名は、上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。「コース名」は受講者募集用に設定したものです。助成金の手続きの際には正式なコース名を記載してください。		
開催日時	2025/7/15（火） 9：30～16：30（昼休憩 12：30～13：30） 受付開始 9：10 9：20までにご着席ください。オリエンテーションを行います。		
会場	ポリテクセンター滋賀 滋賀県大津市光が丘町3-13 JR石山駅から徒歩10分、京阪唐橋前駅から徒歩5分、無料駐車場有（事前予約不要） TEL：077-537-1176		
対象者	中堅層・ベテラン層 ●仕事をしながら、後輩に仕事を教えなければならない方 ●後輩指導に効果的な説明・指導法を知りたい方		
習得する スキル等	●OJTを通じて経験や技能を後輩従業員に伝達するためのスキル		
ポイント	スキルの伝承に役立つOJTの実践方法を学び、人材育成の悩みを解決します。ワークショップを通じてコミュニケーション力もアップ！		
内容	<p>1 人材育成のプロセス【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状の課題 ～取り巻く環境と競争力を考える～ 企業の使命、企業を取り巻く環境や課題について、基本的な知識や考え方を理解し、企業競争力を左右する人材育成の重要性を再認識する。 ・OJTとは ～OJTの「目的」と「メリット」～【講義】 後輩従業員のモチベーションを維持しながら確実なスキル伝承をはかるOJTの特性を理解し、その目的やメリットを深掘することで、OJTを用いた人材育成の基本を身につける。 ・OJTによる人材育成の方向性 ～OJTの「ステップ」～【講義】 OJTの基本的な進め方を理解し、併せて他社での実施事例を参考にすることで、OJT推進のイメージを定着させる。 <p>2 効果的なOJTの進め方とポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OJTを成功させるポイント ～「計画性」と「情報共有」～【講義】 OJTを成功させるために必要な計画性と情報共有について学び、実践のためのポイントやOJTが抱える課題や問題点について考える。 ・OJT計画の作成 ～指導要領書（カリキュラム作成）～【グループワーク】 OJTの実践を事例をもとに考える。後輩従業員にOJTでスキルの伝承を行うための計画を考え、指導要領書に落とし込む。 		

	<p>3 現場で活かせる実践的指導法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導者に求められるヒューマンスキル ～コミュニケーション～ 【ワークショップ】 OJT指導者に求められるヒューマンスキルについて考える。OJT実践の基盤となる「コミュニケーション」について演習を通じて理解する。 ・ 実践のための指導者の人間力向上 ～ティーチングとコーチング～ 【ロールプレイング】 円滑なOJT実践に役立つ「ティーチング」と「コーチング」スキルを身につける。「事例演習」を通して深掘りし、後輩従業員の自発性を引き出せる指導者としての人間力向上を目指す。 		
実施機関	株式会社テクノ経営総合研究所		
定員	15名	受講料	3,300円(税込)
使用ソフトウェア	実施機関・講師からのメッセージ		
持参品等	筆記用具	一方通行の講義ではなく対話型のスタイルで楽しく進めます。知識ではなく職場で役立つ実践的なOJTの進め方を習得していただきます。	
備考			

2025年度生産性向上支援訓練オープンコース コース案内

主催：滋賀職業能力開発促進センター（ポリテクセンター滋賀）

（問い合わせ先）生産性センター業務課 TEL：077-537-1176

コース番号	014	訓練分野	A.生産管理－管理手法
コース名	製造分野におけるDX推進		
正式な コース番号・ コース名	25-25-12-129-014 ※リーフレットには「コース番号」は左記の末尾3桁を記載しています。 － ※正式なコース名は、上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。「コース名」は受講者募集用に設定したものです。助成金の手続きの際には正式なコース名を記載してください。		
開催日時	2025/7/16（水） 9：30～16：30（昼休憩 12：30～13：30） 受付開始 9：10 9：20までにご着席ください。オリエンテーションを行います。		
会場	守山商工会議所 滋賀県守山市吉身3-11-43 JR守山駅西口徒歩15分、近江バス堅田行き（1番のりば）市役所前下車徒歩1分、埋蔵文化財センター行き（3番のりば）市民病院前元町北下車徒歩3分、守山商工会議所駐車場（無料）、守山市役所駐車場（有料） TEL：077-582-2425		
対象者	中堅層・管理者層 ●製造現場で利用されているデジタル技術やデータの活用方法を知りたい方 ●自社に合ったデジタル化を図りたい方		
習得する スキル等	●製品やサービス、ビジネスモデルの改革（DX）を推進して、生産性向上、ビジネス競争力を獲得する方法		
ポイント	(1) 製造業においてDXが成功するために必要な要件を理解していただきます。 (2) 企業におけるDX推進活動に有効な考え方を説明し、自社の今後のDX活動の構想が描けるように進め方を学んでいただきます。実際に考えて、グループ討議を重ね、議論することで新しい気づきを発見していただきます。 (3) 演習を通じて、自社の生産プロセスを革新するためのDXの方策を検討していただきます。		
	1 製造業におけるDXの理解 (1) DXとは 【セルフワーク】 ・新しい価値を創造するDX ・製造業におけるDXが目指すもの ・なかなか進まないDX 【演習①】DX推進の現状把握/セルフアセスメント (2) スマート化を目指す ・スマートファクトリ ・スマートプロダクト ・スマートサービス (3) DXの狙い 【セルフワーク/グループ討議】 ・業務革新と顧客価値の創造 ・製造業におけるDXが目指すもの ・DX推進の課題認識 【演習②】DX推進の課題認識 2 DX実現事例 (1) スマートファクトリ実現事例 ・製造部門におけるDXの紹介		

内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術で解決する事例 		
	<p>(2) DXで解決したいものづくりの課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・属人化した仕事の標準化 ・現場改善にも使えるデジタルツール <p>(3) データドリブンのものづくり 【セルフワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全社最適で推進するDX ・開発～製造～サービスをデータで繋げる ・QCD管理データの棚卸し <p>【演習③】 QCD管理データの棚卸し</p> <p>3 DX推進の目標設定と解決策</p> <p>(1) ものづくりの課題抽出 【セルフワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を見える化 ・解決したい職場の課題 <p>【演習④】 デジタル化で解決したい現場の課題</p> <p>(2) 製造分野のデジタル化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化を進める ・全体最適で推進するDX <p>(3) 様々な課題をDXで解決する 【セルフワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DX推進体制の整備 ・DXの目的、目標設定 ・業務革新、顧客価値創造に向けて <p>【演習⑤】 記録データ活用の仮説検討</p> <p>4 DX推進の計画と実行</p> <p>(1) データドリブンものづくり実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PoCによるPDCA活動について ・計画と実績の見える化 ・データ収集、蓄積、加工 <p>(2) 社内部門連携で進めるDX 【セルフワーク/発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全社的横断的なDX組織づくり ・中長期DX推進の実行計画の策定 ・DXの推進 <p>【(選択) 演習⑥】 DX推進マップの作成ORビジネスモデル構想</p> <p>(3) 社外資源の活用と連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システム開発の手順 ・開発手法について <p>(4) DX推進人材育成と人材の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DXを推進するために必要な技術と人材 ・人材育成の要点 		
実施機関	パナソニックエレクトリックワークス創研株式会社		
定 員	15 名	受 講 料	3,300 円 (税込)
使用ソフトウェア	-		
持参品等	筆記用具		
備 考	-		
	知識やスキルの習得に加えて、職場ですぐに実践できるように、ポイントごとに個人やグループの演習を組み込んでいます。		

2025年度生産性向上支援訓練オープンコース コース案内

主催：滋賀職業能力開発促進センター（ポリテクセンター滋賀）

（問い合わせ先）生産性センター業務課 TEL：077-537-1176

コース番号	015	訓練分野	A.バックオフィス－新技術活用
コース名	RPA活用		
正式な コース番号・ コース名	25-25-12-096-015 ※リーフレットには「コース番号」は左記の末尾3桁を記載しています。 － ※正式なコース名は、上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。「コース名」は受講者募集用に設定したものです。助成金の手続きの際には正式なコース名を記載してください。		
開催日時	2025/7/25（金） 9：30～16：30（昼休憩 12：30～13：30） 受付開始 9：10 9：20までにご着席ください。オリエンテーションを行います。		
会場	ポリテクセンター滋賀 滋賀県大津市光が丘町3-13 JR石山駅から徒歩10分、京阪唐橋前駅から徒歩5分、無料駐車場有（事前予約不要） TEL：077-537-1176		
対象者	初任層・中堅層 ●RPAを活用した業務の自動化を行いたい方 ●RPAの活用方法を学びたい方 ●実際にRPAツールに触れたい方		
習得する スキル等	●業務の自動化による生産性向上をめざすRPAの概要や導入手順、活用方法		
ポイント	RPAとはどのようなツールか、またどのような業務について活用できるかということについて解説すると同時に、実際にツール（PowerAutomateDesktop）で作成していただくことで、ツールの概要について習得いただく。		
内容	<p>1. RPAの導入手順</p> <p>（1）RPAの概要と導入の流れ RPAとは何かについて解説します。また、RPAを導入するにあたり、何をしなければいけないかについて導入手順をもとに説明します。</p> <p>（2）RPAの適用範囲（対象業務）の決定 RPAの機能を解説し、適用していい業務とそうでない業務について事例に基づいて解説します。</p> <p>（3）対象業務のプロセスや業務量のまとめ RPAを導入するための対象にすべき業務のプロセスの洗い出し方や、導入前後の業務量の比較などについて解説します。</p> <p>（4）RPAの運用ルールの整備 RPAを運用していくにあたり、失敗しないためのポイントを交えながら、運用ルールの整備の仕方について解説します。</p> <p>2. RPAの活用方法</p> <p>（1）RPAツールの種類 現在世の中にある代表的なツールについてその特徴を解説します。</p> <p>（2）RPAツールを活用するための準備 RPAツールを活用するための手順について解説します。</p>		

	<p>【演習】セルフワーク サンプルデータを使ってRPAツール（PowerAutomateDesktop）の使い方の基本をマスターしていただきます。</p> <p>3. RPA開発の役割</p> <p>(1) 自社開発とベンダーによる開発 自社開発とベンダーによる開発について、メリット、デメリットとやり方の違いや費用面について解説します。また、ベンダーによる開発を行う場合のポイントについて解説します。</p> <p>(2) 運用と保守 RPAにおける運用と保守とは何を指すのか、またそれに必要な費用などについて解説します。</p> <p>※使用するパソコンはツールのインストール済みのものを実施機関で用意します。</p>	
実施機関	株式会社東京ナレッジプラン	
定員	15名	受講料 3,300円(税込)
使用ソフトウェア	PowerAutomateDesktop	実施機関・講師からのメッセージ
持参品等	筆記用具	
備考	-	座学は短めにして、一人1台のパソコンを使って、実際に使い方の基本を習得していただくことに重みを置きます。演習については、初級から中級レベルの例題を用意します。これらをマスターしていただければ、会社に戻ってからの応用展開が可能になるようなものを用意します。

2025年度生産性向上支援訓練オープンコース コース案内

主催：滋賀職業能力開発促進センター（ポリテクセンター滋賀）

（問い合わせ先）生産性センター業務課 TEL：077-537-1176

コース番号	016	訓練分野	A.バックオフィス-新技術活用
コース名	A I（人工知能）活用		
正式な コース番号・ コース名	25-25-12-094-016 ※リーフレットには「コース番号」は左記の末尾3桁を記載しています。 - ※正式なコース名は、上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。「コース名」は受講者募集用に設定したものです。助成金の手続きの際には正式なコース名を記載してください。		
開催日時	2025/8/5（火） 9：30～16：30（昼休憩 12：30～13：30） 受付開始 9：10 9：20までにご着席ください。オリエンテーションを行います。		
会場	長浜商工会議所 滋賀県長浜市高田町12-34 さざなみタウン内 JR長浜駅から徒歩15分、JR長浜駅から湖国バス5分「さざなみタウン前」バス停から徒歩すぐ、さざなみタウン無料駐車場有 TEL：0749-62-2500		
対象者	中堅層・管理者層 ●AIの仕組みや導入事例を知りたい方 ●AIの活用方法や課題を知りたい方		
習得する スキル等	●A I（人工知能）の概要とビジネスの現場におけるA Iの具体的な活用場面等、 A I 活用に係る知識		
ポイント	AIは、私たちの生活やビジネスを大きく革新する力を持っています。この研修では、生成AIツールを中心に、どう活用できるのかを、初めて使う人でも理解できるよう、丁寧に紹介します。また、便利なAIツールやサービスもいくつかご紹介いたします。AIの基本的な概念を学び、自分のビジネスにどのように活用できるかを探求します。また、スマホを使って生成AIの操作体験も行います。		
内容	1. A I（人工知能）の概要 ・ AIの基礎と最新トレンド AIはどう進化しているのか？ 機械学習、ニューラルネットワーク、ディープラーニング ・ 生成AIとは何か？ 生成AI を使う際の注意点やリスク 生成AI でできるタスク ・ 「プロンプトづくり」の考え方 欲しい回答を引き出す聞き方 2. A Iの活用事例と今後の展望 ・ 生成AIを使ってみよう！ 【演習&グループワーク】 表現を変える応用 生成AIの違いを知る 業務改善アイデアワーク ビジネスモデル企画		

	<ul style="list-style-type: none"> ・ AI 活用事例と用途 ・ AI技術の将来的な進展 AIの今後について <p>(注) 受講者ご自身のスマホ等を使用した演習を行います。</p>		
実施機関	一般社団法人中部産業連盟		
定員	15名	受講料	3,300円(税込)
使用ソフトウェア	ChatGPTなどのAIサービス	実施機関・講師からのメッセージ	
持参品等	筆記用具、スマホ(タブレット、ChatGPTを使用できるPCも可)	<p>これまで累計100回以上、生成AIやDX導入研修を実施してきました。担当講師は長年にわたり、幅広い業界で研修を手掛けており、AI初心者の方でも安心して取り組める内容をお届けします。研修では、業務に直結する具体的な事例や実践的な演習を通じ、AIの可能性を体感していただけます。</p>	
備考	—		

2025年度生産性向上支援訓練オープンコース コース案内

主催：滋賀職業能力開発促進センター（ポリテクセンター滋賀）

（問い合わせ先）生産性センター業務課 TEL：077-537-1176

コース番号	017	訓練分野	B.生涯キャリア形成－役割の変化への対応
コース名	メンタリングによる後輩サポート		
正式な コース番号・ コース名	25-25-12-069-017 ※リーフレットには「コース番号」は左記の末尾3桁を記載しています。 中堅・ベテラン従業員による組織の活性化のための相談技法 ※正式なコース名は、上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。「コース名」は受講者募集用に設定したものです。助成金の手続きの際には正式なコース名を記載してください。		
開催日時	2025/8/22（金） 9：30～16：30（昼休憩 12：30～13：30） 受付開始 9：10 9：20までにご着席ください。オリエンテーションを行います。		
会場	守山商工会議所 滋賀県守山市吉身3-11-43 JR守山駅西口徒歩15分、近江バス堅田行き（1番のりば）市役所前下車徒歩1分、埋蔵文化財センター行き（3番のりば）市民病院前元町北下車徒歩3分、守山商工会議所駐車場（無料）、守山市役所駐車場（有料） TEL：077-582-2425		
対象者	中堅層・ベテラン層 ●後輩従業員に助言・指導しなければならない方 ●メンターの役割や業務内容を知りたい方 ●主に45歳以上の方（45歳未満の方も受講できます。）		
習得する スキル等	●後輩従業員の抱える悩み等に対してメンターとして相談援助を行っていくために必要なスキル ※メンター：新入社員など知識や経験の少ない従業員に対し、プライベートを含め、個別に相談にのったり、指導・助言をする者		
ポイント	メンタリングを行うにあたって必要な考え方やスキルを、学んで終わりではなく、各単元ごとに設定された演習を通して、明日からの行動につなげられるような訓練内容とした。		
内容	<p>1. 職場の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場の現状把握 職場を取り巻く環境の変化を振り返る ・職場の課題と解決のプロセス 課題解決のプロセス 【セルフワーク】 解決の優先度の高い課題について解決までの段取りを考える <p>2. 求められる役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己理解を深める 【セルフワーク・グループ討議】 エゴグラムによるコミュニケーションの傾向診断 ・役割を果たすには？ 時代や職場環境の変化・働き方の多様化について説明する 【グループワーク】 心理的安全性についてワークを通して理解を深める 		

	<p>3. メンタリングによる相談援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メンタリングに必要なスキル 3つのスキル<「傾聴」「深掘り（質問）」「助言」>について説明する ・【ロールプレイング】 ケーススタディを通して、メンタリングを体験する <p>※メンタリング：先輩が後輩を1対1で指導・助言する人材育成方法</p>		
実施機関	公益財団法人産業雇用安定センター 滋賀事務所		
定員	15名	受講料	3,300円(税込)
使用ソフトウェア	-		
持参品等	筆記用具		
備考	-		
	助言・指導が恣意的ではなく、理論に沿ってできるようになることを目指します。		

2025年度生産性向上支援訓練オープンコース コース案内

主催：滋賀職業能力開発促進センター（ポリテクセンター滋賀）

（問い合わせ先）生産性センター業務課 TEL：077-537-1176

コース番号	018	訓練分野	B.生涯キャリア形成－役割の変化への対応
コース名	コーチングによる後輩指導		
正式な コース番号・ コース名	25-25-12-068-018 ※リーフレットには「コース番号」は左記の末尾3桁を記載しています。 後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割 ※正式なコース名は、上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。「コース名」は受講者募集用に設定したものです。助成金の手続きの際には正式なコース名を記載してください。		
開催日時	2025/9/5（金） 9：30～16：30（昼休憩 12：30～13：30） 受付開始 9：10 9：20までにご着席ください。オリエンテーションを行います。		
会場	ポリテクセンター滋賀 滋賀県大津市光が丘町3-13 JR石山駅から徒歩10分、京阪唐橋前駅から徒歩5分、無料駐車場有（事前予約不要） 077-537-1176		
対象者	中堅層・ベテラン層 ●自分が受けた指導は、平成育ちの後輩には通じないと感じている方 ●平成育ちの後輩に対する援助・指導の方法を知りたい方 ●主に45歳以上の方（45歳未満の方も受講できます。）		
習得する スキル等	●後輩従業員を指導するためのコーチング法 ●職場の課題解決に向けた先導的役割		
ポイント	職場環境の変化に合わせて、中堅・ベテラン従業員がこれまで培った経験を生かすのか否かを見極めた上で、後輩指導力発揮に必要なスキルを学び、実践することを訓練内容とした。		
内容	<p>1. 職場の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場の現状把握 職場を取り巻く環境の変化を振り返る ・職場の課題と解決のプロセス 課題解決に向けての優先順位を考える 【グループワーク】ケースを使って、課題解決のディスカッションを行う <p>2. 求められる役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己理解を深める 【セルフワーク・グループ討議】 エゴグラムによるコミュニケーションの傾向診断 ・役割を果たすには？ 時代や職場環境の変化・働き方の多様化について説明する 心理的安全性についてワークを通して理解を深める <p>3. ティーチングを活用した指導法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ティーチングが必要な場面とスキル 		

	<p>4. コーチングを活用した指導法 コーチングが必要な場面とスキル 【ロールプレイング】 ケースを使って、後輩指導を実践し、 行動計画を作成する</p>		
実施機関	公益財団法人産業雇用安定センター 滋賀事務所		
定員	15名	受講料	3,300円(税込)
使用ソフトウェア	-	実施機関・講師からのメッセージ	
持参品等	筆記用具		
備考	-	人材の多様化により変化している後輩への指導法を習得しましょう。	

2025年度生産性向上支援訓練オープンコース コース案内

主催：滋賀職業能力開発促進センター（ポリテクセンター滋賀）

（問い合わせ先）生産性センター業務課 TEL：077-537-1176

コース番号	019	訓練分野	B.組織マネジメントーリスクマネジメント
コース名	リスクマネジメントによる損失防止対策		
正式な コース番号・ コース名	25-25-12-039-019 ※リーフレットには「コース番号」は左記の末尾3桁を記載しています。 - ※正式なコース名は、上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。「コース名」は受講者募集用に設定したものです。助成金の手続きの際には正式なコース名を記載してください。		
開催日時	2025/9/18（木） 9：30～16：30（昼休憩 12：30～13：30） 受付開始 9：10 9：20までにご着席ください。オリエンテーションを行います。		
会場	ポリテクセンター滋賀 滋賀県大津市光が丘町3-13 JR石山駅から徒歩10分、京阪唐橋前駅から徒歩5分、無料駐車場有（事前予約不要） TEL：077-537-1176		
対象者	中堅層・管理者層 ●企業経営におけるリスクについて知りたい方 ●リスクマネジメントの最良な方法を学びたい方		
習得する スキル等	●リスクマネジメントに関する考え方や方法 ●不確定要素の軽減及び排除のためのリスクによる損失の回避及び損失拡大の防止		
ポイント	・企業が直面するリスクに備えて、日常業務（平常時）の中でリスクマネジメントのサイクルを適切に回す感覚を身に付けることができるようにしています。		
内容	1 リスクマネジメントとは （1）リスクとリスクマネジメント 【セルフワーク】 ・リスクとは何か ・リスクマネジメントとは何か ・リスクマネジメントの運用 【ケーススタディ】過去に経験したリスクへの対策立案と優先順位付け 2 リスク分析手法 （1）コンプライアンスの考え方 【セルフワーク】 ・世の中の事件に学ぶ ・コンプライアンスとは何か ・コンプライアンスの重要性 ・自らの判断基準と行動 ・職場の常識力の向上 ・企業の社会的責任 【ケーススタディ】企業活動の底辺に潜むコンプライアンス （2）BCP（事業継続計画）の考え方 【セルフワーク】 ・BCPの概要 ・BCPが必要とされる背景 ・BCPの作成 ・BCP導入のメリット		

	<ul style="list-style-type: none"> ・事業継続力強化計画策定 ・危機管理マニュアルの作成例 <p>【ケーススタディ】BCP自己診断チェック・判定</p> <p>(3) ソーシャルリスクマネジメントの考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャル・リスクマネジメントの概要 ・ソーシャル・リスクマネジメントの役割 ・SDGs 		
実施機関	パナソニックエレクトリックワークス創研株式会社		
定員	15名	受講料	3,300円(税込)
使用ソフトウェア	－	実施機関・講師からのメッセージ	
持参品等	筆記用具	知識やスキルの習得に加えて、職場ですぐに実践できるように、ポイントごとに個人やグループの演習を組み込んでいます。	
備考	－		

2025年度生産性向上支援訓練オープンコース コース案内

主催：滋賀職業能力開発促進センター（ポリテクセンター滋賀）

（問い合わせ先）生産性センター業務課 TEL：077-537-1176

コース番号	020	訓練分野	A.生産管理－原価管理
コース名	原価管理とコストダウン		
正式な コース番号・ コース名	25-25-12-006-020 ※リーフレットには「コース番号」は左記の末尾3桁を記載しています。 － ※正式なコース名は、上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。「コース名」は受講者募集用に設定したものです。助成金の手続きの際には正式なコース名を記載してください。		
開催日時	2025/10/8（水） 9：30～16：30（昼休憩 12：30～13：30） 受付開始 9：10 9：20までにご着席ください。オリエンテーションを行います。		
会 場	守山商工会議所 滋賀県守山市吉身3-11-43 JR守山駅西口徒歩15分、近江バス堅田行き（1番のりば）市役所前下車徒歩1分、埋蔵文化財センター行き（3番のりば）市民病院前元町北下車徒歩3分、守山商工会議所駐車場（無料）、守山市役所駐車場（有料） TEL：077-582-2425		
対 象 者	中堅層・管理者層 ●ロス低減のための改善方法を学びたい方 ●見積コスト算出及びコストダウン実行計画を策定したい方		
習得する スキル等	●原価管理をコスト（費用削減）と生産性（業務効率向上）の2軸で捉えた企業収益向上のポイント		
ポイント	今回利用する企業において、製造原価の基礎知識の習得を行うとともに、原価低減要因を見つけて、生産現場の具体的な改善案を従業員自ら提案できるよう、演習を踏まえた研修内容としました。		
内 容	<p>1 原価管理とは</p> <p>（1）原価管理の基礎知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原価管理の目的と重要性を「製品、工場、中期」の3視点で理解し、財務会計及び管理会計との関わりを解説する。 <p>（2）原価の構成と原価計算 【セルフワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製品原価と構成要素である「材料費、労務費、経費」のつながり、目的に応じた原価の考え方、原価計算方法について解説する。 <p>【演習1】直接原価計算</p> <p>（3）経営視点と原価管理 【セルフワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財務諸表：企業の経営状態を分析するための財務諸表（損益計算書、貸借対照表、キャッシュフロー計算書）を読む際のポイント及び原価との関わりについて解説する。 ・損益分岐点：変動費と固定費から求める損益分岐点の考え方について理解し、体質改善への活用方法、売上目標の設定方法、利益を上げるための4つの視点について解説する。 ・財務会計と管理会計 <p>【演習2】損益分岐点分析</p> <p>2 コスト削減</p>		

	<p>(1) コスト削減の着眼点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コスト削減を製品原価と販管費の視点で捉え、変動費削減、固定費削減として、業務（仕入、生産、管理、物流他）のコスト削減ポイントを解説する。 <p>(2) コスト削減のための発注改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発注部材に応じたコスト削減、中期視点の仕入コスト削減など、発注業務の見直しによるコスト削減手法を解説する。 <p>(3) 職場のムダの改善 【セルフワーク】</p> <p>【演習3】不良ロスと原価影響</p>		
3	<p>IE手法による標準時間設定方法</p> <p>(1) 現場課題のを見つけ方 (IE手法) 【セルフワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工程分析 ・稼働分析 ・動作分析 <p>【演習4】マンマシンチャート作成</p> <p>(2) 改善手法と事例</p>		
実施機関	パナソニックエレクトリックワークス創研株式会社		
定員	15名	受講料	3,300円(税込)
使用ソフトウェア	－	実施機関・講師からのメッセージ	
持参品等	筆記用具、電卓(スマホ)	知識やスキルの習得に加えて、職場ですぐに実践できるように、ポイントごとに個人やグループの演習を組み込んでいます。	
備考	－		

2025年度生産性向上支援訓練オープンコース コース案内

主催：滋賀職業能力開発促進センター（ポリテクセンター滋賀）

（問い合わせ先）生産性センター業務課 TEL：077-537-1176

コース番号	021	訓練分野	B.組織マネジメントー組織力強化
コース名	職場のリーダーに求められる統率力の向上		
正式な コース番号・ コース名	25-25-12-061-021 ※リーフレットには「コース番号」は左記の末尾3桁を記載しています。 - ※正式なコース名は、上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。「コース名」は受講者募集用に設定したものです。助成金の手続きの際には正式なコース名を記載してください。		
開催日時	2025/10/21（火） 9：30～16：30（昼休憩 12：30～13：30） 受付開始 9：10 9：20までにご着席ください。オリエンテーションを行います。		
会 場	奥琵琶湖マキノパークホテル&セミナーハウス 滋賀県高島市マキノ町高木浜2-1-5 JRマキノ駅から徒歩約8分、無料駐車場有 TEL：0740-28-1231		
対 象 者	<p>中堅層・管理者層</p> <ul style="list-style-type: none"> ●リーダーシップについて学びたい方 ●チームワークを牽引できる能力を習得したい方 ●部下の強みをもっと発揮させたい方 		
習得する スキル等	<ul style="list-style-type: none"> ●職場の生産性を向上するために必要となる各種経営組織や形態に対応できる管理機能 ●職位に応じた組織を統率するための能力 ●職場のチームワークを牽引できる能力 		
ポイント	職場のリーダーに必要な能力を解説し、チームワークとコミュニケーション、リーダーシップとフォロワーシップ等、統率力を向上させる方法を演習を交えて理解していただきます。		
	<p>1 組織の管理</p> <p>(1) 組織マネジメントの基本【セルフワーク/グループワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織とは、5つの管理原則、統率力とリーダーシップなど <p>【演習】組織やチームで働く意味から統率力を考える</p> <p>(2) 人の成長の仕組み【セルフワーク/グループワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統率力に必要な人材育成に迷ったときの羅針盤（成人発達心理学） <p>【演習】意識の発達段階の理解</p> <p>2 職場の生産性と統率力</p> <p>(1) 変化するリーダーシップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs、EDIに沿ったリーダーとは？ ・従業員エンゲージメント、社員の力を解き放つことの必要性 <p>(2) 生産性と統率力向上のカギ【ロールプレイング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産性と統率力向上のカギは共通の考えやメリット <p>【演習】共通の考えやメリットを見出す</p> <p>3 職場の情報伝達</p> <p>(1) アサーティブな情報伝達【ロールプレイング】</p>		

内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・アサーティブに伝える（事実を基に率直に伝える） 【演習】アサーティブなコミュニケーション (2) アサーティブに聴く【ロールプレイング】 <ul style="list-style-type: none"> ・事実を率直に聴く ・メンタリングを通して気づきや勇気を与える ・傾聴する、共に成長する ・ティーチングのポイントはやりっぱなしにしないこと 【演習】傾聴練習、しっかり聴いてフィードバック (3) コーチング【ロールプレイング】 <ul style="list-style-type: none"> ・指示的にならない指導法で自律的成長をめざす ・GROWモデルで、構想に近づく支援を行う (構想確認、ギャップ把握、選択の議論) 【演習】GROWモデルでコーチング体感 <p>(参考) アサーティブ 「assertive」の和訳は「断定的な」「言い張る」ですが、このコースで学ぶ「アサーティブ」は、自分の言いたいことを一方的に伝えるのではなく、相手の気持ちや考えを尊重し、自分の気持ちや考えを相手にまっすぐ伝わるよう適切に表現する、自分も相手も尊重するコミュニケーションの方法です。</p>		
実施機関	パナソニックエレクトリックワークス創研株式会社		
定 員	15 名	受 講 料	3,300 円 (税込)
使用ソフトウェア	－ 実施機関・講師からのメッセージ		
持参品等	筆記用具		
備 考	－ 知識やスキルの習得に加えて、職場ですぐに実践できるように、ポイントごとに個人やグループの演習を組み込んでいます。		

2025年度生産性向上支援訓練オープンコース コース案内

主催：滋賀職業能力開発促進センター（ポリテクセンター滋賀）

（問い合わせ先）生産性センター業務課 TEL：077-537-1176

コース番号	022	訓練分野	B.組織マネジメントー組織力強化
コース名	従業員満足度の向上		
正式な コース番号・ コース名	25-25-12-085-022 ※リーフレットには「コース番号」は左記の末尾3桁を記載しています。 - ※正式なコース名は、上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。「コース名」は受講者募集用に設定したものです。助成金の手続きの際には正式なコース名を記載してください。		
開催日時	2025/10/28（火） 9：30～16：30（昼休憩 12：30～13：30） 受付開始 9：10 9：20までにご着席ください。オリエンテーションを行います。		
会場	ポリテクセンター滋賀 滋賀県大津市光が丘町3-13 JR石山駅から徒歩10分、京阪唐橋前駅から徒歩5分、無料駐車場有（事前予約不要） TEL：077-537-1176		
対象者	<p>中堅層・管理者層</p> <ul style="list-style-type: none"> ●従業員満足度が企業に及ぼす影響を知りたい方 ●従業員満足度を向上させるための改善策を知りたい方 		
習得する スキル等	<ul style="list-style-type: none"> ●従業員満足度が企業に与える影響と調査・分析方法 ●従業員満足度の向上に活用できる知識 		
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員満足度の源泉となる「自由闊達な組織風土へ変革する活動」に関して、導入から定着までのプロセス・ステップを、実例を踏まえて解説します。 ・さらに、従業員満足度を向上させるための方策について、ケーススタディ演習を通じて組織マネジメントの効果的な進め方を習得していただきます。 		
内容	<p>1 従業員満足度の概要</p> <p>（1）従業員満足度とは 従業員満足度の概念を、構成要素である満足度要因と不満足要因について解説する。</p> <p>（2）従業員満足度が企業に与える影響 【セルフワーク】 従業員満足度が企業業績に与える影響について、業種の特性を踏まえ実例を用いて解説する。 【演習】社員重視/事例から自社にとって学ぶべき「気づき」</p> <p>2 従業員満足度の調査と分析</p> <p>（1）「働きがいのある会社」調査 従業員満足度を測定するための指標、具体的な調査の方法、調査における注意点などについて解説する。</p> <p>（2）顧客満足度（CS）と企業業績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本版顧客満足度指数JCSI ・オリコン顧客満足度 ・企業業績との相関 <p>3 従業員満足度向上の取組み</p>		

	<p>(1) 分析結果に基づく改善策の検討 【セルフワーク】 従業員調査結果からどのような改善策を見出すかについて事例を用いて解説する。 【演習】 インターナルマーケティング 【演習】 CS・ES/事例から自社にとって学ぶべき「気づき」</p> <p>(2) 従業員満足度の向上事例 【グループワーク】 従業員満足度向上のための活動計画、PDCA、成果の評価について事例を用いて解説する。 従業員満足度を高めるための方策について、ケーススタディにより演習を行い、対策案のアイデア抽出、対策案の評価を行う。 【ケーススタディ①】 (旧) パナソニック電工解析センターの活動 【ケーススタディ②】 ABC精密工業(株) 【ケーススタディ③】 万協製薬(株)</p>	
実施機関	パナソニックエレクトリックワークス創研株式会社	
定員	15名	受講料 3,300円(税込)
使用ソフトウェア	ー	実施機関・講師からのメッセージ
持参品等	筆記用具	知識やスキルの習得に加えて、職場ですぐに実践できるように、ポイントごとに個人やグループの演習を組み込んでいます。
備考	ー	

2025年度生産性向上支援訓練オープンコース コース案内

主催：滋賀職業能力開発促進センター（ポリテクセンター滋賀）

（問い合わせ先）生産性センター業務課 TEL：077-537-1176

コース番号	023	訓練分野	B.組織マネジメントー組織力強化
コース名	組織力強化のための管理		
正式な コース番号・ コース名	25-25-12-043-023 ※リーフレットには「コース番号」は左記の末尾3桁を記載しています。 - ※正式なコース名は、上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。「コース名」は受講者募集用に設定したものです。助成金の手続きの際には正式なコース名を記載してください。		
開催日時	2025/11/6（木） 9：30～16：30（昼休憩 12：30～13：30） 受付開始 9：10 9：20までにご着席ください。オリエンテーションを行います。		
会場	守山商工会議所 滋賀県守山市吉身3-11-43 JR守山駅西口徒歩15分、近江バス堅田行き（1番のりば）市役所前下車徒歩1分、埋蔵文化財センター行き（3番のりば）市民病院前元町北下車徒歩3分、守山商工会議所駐車場（無料）、守山市役所駐車場（有料） TEL：077-582-2425		
対象者	中堅層・管理者層 ●管理者の役割を果たし、組織目標を達成したい方 ●「組織力」「管理」の内容、組織力強化の手法を知りたい方		
習得する スキル等	●組織における管理者の役割、組織力の強化のための具体的な手法 ●組織目標の達成に向けた強い組織の構築手法		
ポイント	①管理者としての基本的な役割を再認識してもらうことを重視した内容にしました。 ②個人ではなく、人と組織を通じて成果を出すことにフォーカスして、目標設定やコーチングなどのテクニックを織り込んでいます。 ③知識付与に偏らないよう、グループ討議を通じて、実際の自分の職場で使える手法を体験する演習を入れています。		
	1 目標達成における管理者の役割 （1）会社とは何か ・会社の定義 ・会社の使命 （2）組織と管理者 ・会社と社員の関係 ・一般社員と管理監督者 ・労務問題をめぐる使用者責任 （3）管理者の役割と行動 ・管理職/管理者の定義 ・組織責任者の役割 ・管理者の仕事と行動 ・リーダーシップとマネジメント （4）強化すべき管理者のスキル 【セルフワーク】 ・マネジメントの3つのスキルとスタイル 【演習】マネジメントスタイルのセルフチェック		

内 容	(5) 組織目標と達成活動 <ul style="list-style-type: none"> ・組織の目標と課題設定のやり方 ・進捗管理とPDCAの廻し方 		
	2 組織力の強化 <ul style="list-style-type: none"> (1) 人材育成とその方法 <ul style="list-style-type: none"> ・部下育成の基本的な考え方と指導方法 ・人材育成の進め方 (2) コーチングの基本 <ul style="list-style-type: none"> ・ティーチングとコーチング ・コーチングの3つのスキルなど (3) コミュニケーション 【セルフワーク】 <ul style="list-style-type: none"> ・人を動かす3要素 ・自己開示とフィードバック ・モチベーションのタイプ 【演習】モチベーションタイプのセルフチェック (4) 強い組織の条件 【グループワーク】 <ul style="list-style-type: none"> ・組織目標と価値観の共有 ・仕事と職場の効率化・改善 ・働きやすい組織風土・文化 【演習】どうすれば組織力を強化できるか <ul style="list-style-type: none"> ①組織力強化のためのアイデアを出し合う ②アイデアを評価し、優先順位を決める ③発表と全体討議・意見交換 ※親和図法、ブレインライティング法を使う 		
実施機関	パナソニックエレクトリックワークス創研株式会社		
定 員	15 名	受 講 料	3,300 円 (税込)
使用ソフトウェア	－	実施機関・講師からのメッセージ	
持参品等	筆記用具	知識やスキルの習得に加えて、職場ですぐに実践できるように、ポイントごとに個人やグループの演習を組み込んでいます。	
備 考	－		

2025年度生産性向上支援訓練オープンコース コース案内

主催：滋賀職業能力開発促進センター（ポリテクセンター滋賀）

（問い合わせ先）生産性センター業務課 TEL：077-537-1176

コース番号	024	訓練分野	B.生涯キャリア形成－役割の変化への対応
コース名	中堅・ベテランに求められるコミュニケーション力		
正式な コース番号・ コース名	25-25-12-067-024 ※リーフレットには「コース番号」は左記の末尾3桁を記載しています。 チーム力の強化と中堅・ベテラン従業員の役割 ※正式なコース名は、上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。「コース名」は受講者募集用に設定したものです。助成金の手続きの際には正式なコース名を記載してください。		
開催日時	2025/11/13（木） 9：30～16：30（昼休憩 12：30～13：30） 受付開始 9：10 9：20までにご着席ください。オリエンテーションを行います。		
会 場	ポリテクセンター滋賀 滋賀県大津市光が丘町3-13 JR石山駅から徒歩10分、京阪唐橋前駅から徒歩5分、無料駐車場有（事前予約不要） TEL：077-537-1176		
対 象 者	<ul style="list-style-type: none"> ● 「伝えた」のに伝わっていなかった経験がある方 ● 良好な人間関係を保ち、職場の課題を後輩と共同で解決したい方 ● 主に45歳以上の方（45歳未満の方も受講できます。） 		
習得する スキル等	<ul style="list-style-type: none"> ● 中堅・ベテラン従業員に求められる今後の役割や能力 ● 職場の課題に対してこれまでの経験に基づき後輩従業員と共同で解決策を得るためのスキル 		
ポイント	職場で体験する事例を用いて講義及び演習を行います。講義で説明した内容を職場ですぐに実践できるよう演習を盛り込み、演習は講義内容が定着するようセルフワーク、グループワーク、ロールプレイングと様々な実施形態を取り入れています。		
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職場の課題 職場の問題・課題・対応策【講義】 2. 求められる役割と能力 職場の課題と中堅・ベテラン従業員に求められる役割と能力 【セルフワーク/グループ討議】 3. アサーティブの基本 アサーティブとは【講義】 4. アサーティブな関係構築 (1) コミュニケーションとは【講義】 (2) アサーティブな聴き方【ロールプレイング】 (3) アサーティブな伝え方【セルフワーク/ロールプレイング/グループ討議】 (4) 職場における関係構築【講義】 (5) 振り返り【セルフワーク】 		

	<p>(参考) アサーティブ</p> <p>「assertive」の和訳は「断定的な」「言い張る」ですが、このコースで学ぶ「アサーティブ」は、自分の言いたいことを一方的に伝えるのではなく、相手の気持ちや考えを尊重し、自分の気持ちや考えを相手にまっすぐ伝わるよう適切に表現する、自分も相手も尊重するコミュニケーションの方法です。</p>		
実施機関	公益財団法人産業雇用安定センター 滋賀事務所		
定員	15名	受講料	3,300円(税込)
使用ソフトウェア	-		
持参品等	筆記用具		
備考	-		

2025年度生産性向上支援訓練オープンコース コース案内

主催：滋賀職業能力開発促進センター（ポリテクセンター滋賀）

（問い合わせ先）生産性センター業務課 TEL：077-537-1176

コース番号	025	訓練分野	A.生産管理－生産・開発計画
コース名	ものづくりの仕事のしくみと業務改善		
正式な コース番号・ コース名	25-25-12-048-025 ※リーフレットには「コース番号」は左記の末尾3桁を記載しています。 ものづくりの仕事のしくみと生産性向上 ※正式なコース名は、上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。「コース名」は受講者募集用に設定したものです。助成金の手続きの際には正式なコース名を記載してください。		
開催日時	2025/11/14（金） 9：30～16：30（昼休憩 12：30～13：30） 受付開始 9：10 9：20までにご着席ください。オリエンテーションを行います。		
会場	ポリテクセンター滋賀 滋賀県大津市光が丘町3-13 JR石山駅から徒歩10分、京阪唐橋前駅から徒歩5分、無料駐車場有（事前予約不要） TEL：077-537-1176		
対象者	初任層・中堅層 ●製造業に携わって日が浅い方 ●製造業全体のしくみや流れを知りたい方 ●製造現場における課題や発見解決方法を学びたい方		
習得する スキル等	●製造業の業務の流れと各部門の役割 ●製造業全体の基本的なしくみ ●製造現場での仕事に対する考え方、自身の立場や責任 ●業務改善の考え方		
ポイント	製造業とは何かを知り、仕事に取り組む基本姿勢と業務の流れを自身の立場に紐づけて理解できるとともに、自らが自発的にものづくり現場における問題解決を通じて生産性向上が図れるよう、問題発見・解決の考え方や進め方を演習を含めて習得できるような研修内容にしました。		
	<p>1 ものづくりの仕事の流れ</p> <p>（1）製造業を取り巻く環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本のものでづくりの現状と取り巻く環境を国内外の視点で解説する。 <p>（2）企業経営とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業活動の全体像について経営品質をベースに解説する。 <p>【演習】自社について考える（セルフワーク/グループ討議）</p> <p>（3）ものづくり活動の基本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製造人として必要な仕事に取り組む基本姿勢と進め方の基本について解説する。 <p>2 ものづくり現場の現状と課題</p> <p>（1）生産の3要素と4M管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産性を向上させるためのQCDDの考え方と生産工程における4Mの変化点管理の仕方について解説する。 <p>（2）生産管理のしくみ</p>		

内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製造業にとって重要である品質管理・原価管理・納期管理・安全管理等の生産管理/統制のポイントを解説する。□ 【演習】原価の見える化 (セルフワーク/グループ討議) ・ 各生産方式とその特徴から、自社におけるものづくり競争力を確保する考え方について解説する。 【演習】生産方式と特徴 (セルフワーク/グループワーク) <p>3 ものづくりに関する業務改善</p> <p>(1) 問題発見・解決</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ データに基づく問題発見や課題解決を行うための改善手法(ロジカルシンキング)について解説する。 【演習】問題分析手法 (セルフワーク/グループ討議) <p>(2) ものづくり現場の5 S</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産現場を見える化する手法である5 Sの基本と定着化に向けた進め方について解説する。 <p>(3) 現状のムダに気づく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産現場におけるムダに気づく着眼方法について、7つのムダと3ムの視点から解説する。 【演習】ムダに気づく (セルフワーク/グループワーク) <p>(4) 改善活動の基本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 改善活動への取り組みの基本姿勢と着眼ポイント、実践の仕方について解説する。 【演習】ムダな作業の改善 (セルフワーク/グループワーク) 		
実施機関	パナソニックエレクトリックワークス創研株式会社		
定 員	15 名	受 講 料	3,300 円 (税込)
使用ソフトウェア	ー 実施機関・講師からのメッセージ		
持参品等	筆記用具、電卓 (スマホ)		
備 考	ー 知識やスキルの習得に加えて、職場ですぐに実践できるように、ポイントごとに個人やグループの演習を組み込んでいます。		

2025年度生産性向上支援訓練オープンコース コース案内

主催：滋賀職業能力開発促進センター（ポリテクセンター滋賀）

（問い合わせ先）生産性センター業務課 TEL：077-537-1176

コース番号	026	訓練分野	B.生涯キャリア形成－役割の変化への対応
コース名	メンタリングによる後輩サポート		
正式な コース番号・ コース名	25-25-12-069-026 ※リーフレットには「コース番号」は左記の末尾3桁を記載しています。 中堅・ベテラン従業員による組織の活性化のための相談技法 ※正式なコース名は、上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。「コース名」は受講者募集用に設定したものです。助成金の手続きの際には正式なコース名を記載してください。		
開催日時	2025/11/19（水） 9：30～16：30（昼休憩 12：30～13：30） 受付開始 9：10 9：20までにご着席ください。オリエンテーションを行います。		
会 場	長浜商工会議所 滋賀県長浜市高田町12-34 さざなみタウン内 JR長浜駅から徒歩15分、JR長浜駅から湖国バス5分「さざなみタウン前」バス停から徒歩すぐ、さざなみタウン無料駐車場有 0749-62-2500		
対 象 者	中堅層・ベテラン層 ●後輩従業員に助言・指導しなければならない方 ●メンターの役割や業務内容を知りたい方 ●主に45歳以上の方（45歳未満の方も受講できます。）		
習得する スキル等	●後輩従業員の抱える悩み等に対してメンターとして相談援助を行っていくために必要なスキル ※メンター：新入社員など知識や経験の少ない従業員に対し、プライベートを含め、個別に相談にのったり、指導・助言をする者		
ポイント	メンタリングを行うにあたって必要な考え方やスキルを、学んで終わりではなく、各單元ごとに設定された演習を通して、明日からの行動につなげられるような訓練内容とした。		
内 容	1. 職場の課題 ・職場の現状把握 職場を取り巻く環境の変化を振り返る ・職場の課題と解決のプロセス 課題解決のプロセス 【セルフワーク】 解決の優先度の高い課題について解決までの段取りを考える 2. 求められる役割 ・自己理解を深める 【セルフワーク・グループ討議】 エゴグラムによるコミュニケーションの傾向診断 ・役割を果たすには？ 時代や職場環境の変化・働き方の多様化について説明する 【グループワーク】 心理的安全性についてワークを通して理解を深める		

	<p>3. メンタリングによる相談援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メンタリングに必要なスキル 3つのスキル<「傾聴」「深掘り（質問）」「助言」>について説明する ・【ロールプレイング】ケーススタディを通して、メンタリングを体験する <p>※メンタリング：先輩が後輩を1対1で指導・助言する人材育成方法</p>		
実施機関	公益財団法人産業雇用安定センター 滋賀事務所		
定員	15名	受講料	3,300円(税込)
使用ソフトウェア	－	実施機関・講師からのメッセージ	
持参品等	筆記用具		
備考	－	助言・指導が恣意的ではなく、理論に沿ってできるようにすることを目指します。	

2025年度生産性向上支援訓練オープンコース コース案内

主催：滋賀職業能力開発促進センター（ポリテクセンター滋賀）

（問い合わせ先）生産性センター業務課 TEL：077-537-1176

コース番号	027	訓練分野	A.品質保証・管理－品質保証・管理手法
コース名	品質管理実践		
正式な コース番号・ コース名	25-25-12-011-027 ※リーフレットには「コース番号」は左記の末尾3桁を記載しています。 － ※正式なコース名は、上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。「コース名」は受講者募集用に設定したものです。助成金の手続きの際には正式なコース名を記載してください。		
開催日時	2025/12/11（木） 9：30～16：30（昼休憩 12：30～13：30） 受付開始 9：10 9：20までにご着席ください。オリエンテーションを行います。		
会場	ポリテクセンター滋賀 滋賀県大津市光が丘町3-13 JR石山駅から徒歩10分、京阪唐橋前駅から徒歩5分、無料駐車場有（事前予約不要） TEL：077-537-1176		
対象者	初任層・中堅層 ●品質管理活動に取り組みたい方 ●QCサークルを活性化させたい方 ●QC的問題解決法を理解したい方		
習得する スキル等	●品質管理の考え方 ●不良・クレームゼロを実践するために必要な知識と技能		
ポイント	不良、クレーム発生原因を分析し、品質管理活動の推進方法を習得していただく。 また、自部署における問題点の解決案を演習にて検討いただく。		
	<p>1 品質管理の進め方</p> <p>（1）品質とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質の定義・品質の具備すべき要素 <p>（2）品質管理と品質保証の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不良ゼロの品質保証と良品を作りこむための品質管理の違い ・両者の必要性 <p>（3）TQMの考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全社・全組織で品質管理に取り組む必要性の背景 ・取り組みの目的と活動内容 <p>2 品質管理活動の推進</p> <p>（1）品質管理活動の基本と問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場の潜在的な問題によるトラブル防止の考え方 ・陥り易い盲点 <p>（2）製造管理のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質を造り込むために必要なポイント ・陥り易いヒューマンエラーのメカニズムと対策 <p>3 不良・クレームゼロの実践</p> <p>（1）不良ゼロの意義と効果</p>		

内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・市場トラブルによる目に見える企業の損失とリスク ・市場トラブルによる潜在的な企業の損失とリスク ・不良ゼロの効果 <p>(2) トラブルの再発防止について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質情報の管理の仕組み ・是正措置と管理の考え方 ・組織的な取り組み ・小集団（QCサークル）活動と活性化 <p>(3) 原因解析、水平展開、根本的解決の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『根本原因解析法』の考え方 ・水平（横）展開 <p>(4) 問題解決の手法【グループワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新QC七つ道具（根本原因解析）：系統図法+マトリックス図法 なぜなぜ分析、QAマトリックス ・統計的な考え方（IT機器の活用で合理化を図る） <p>(5) トラブルの未然防止活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FMEAの活用による未然防止活動 ・FTAの活用による未然防止活動 ・リスクアセスメントによる未然防止活動 ・変更管理による未然防止活動 		
実施機関	パナソニックエレクトリックワークス創研株式会社		
定 員	15 名	受 講 料	3,300 円 (税込)
使用ソフトウェア	－ 実施機関・講師からのメッセージ		
持参品等	筆記用具		
備 考	－ 知識やスキルの習得に加えて、職場ですぐに実践できるように、ポイントごとに個人やグループの演習を組み込んでいます。		

2025年度生産性向上支援訓練オープンコース コース案内

主催：滋賀職業能力開発促進センター（ポリテクセンター滋賀）

（問い合わせ先）生産性センター業務課 TEL：077-537-1176

コース番号	028	訓練分野	B.組織マネジメントー組織力強化
コース名	成果を上げる業務改善		
正式な コース番号・ コース名	25-25-12-042-028 ※リーフレットには「コース番号」は左記の末尾3桁を記載しています。 - ※正式なコース名は、上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。「コース名」は受講者募集用に設定したものです。助成金の手続きの際には正式なコース名を記載してください。		
開催日時	2026/1/27（火） 9：30～16：30（昼休憩 12：30～13：30） 受付開始 9：10 9：20までにご着席ください。オリエンテーションを行います。		
会場	ポリテクセンター滋賀 滋賀県大津市光が丘町3-13 JR石山駅から徒歩10分、京阪唐橋前駅から徒歩5分、無料駐車場有（事前予約不要） TEL：077-537-1176		
対象者	初任層・中堅層・管理者層 ●業務上の問題点を把握したい方 ●業務改善の進め方を知りたい方 ●業務改善の成果を検証したい方		
習得する スキル等	●業務改善の目的と必要性 ●改善の視点と具体的な進め方		
ポイント	・4～6人程度のグループワークにより、グループのメンバー全員で考え、話し合っ て理解を深める研修としています。 ・受講者には、質問を投げかけるなどして、双方向の研修を心掛けています。 ・研修の最後に、「学びを活かす」として心に残ったこと、明日からこうしたい、 と思うことを3項目程度記載いただき、数名の方に発表していただくことで研修の まとめとします。		
	1 業務改善と業務の可視化 (1) 業務を改善する目的とは 【グループ討議】 ・会社の役割と使命から生産性向上の重要性を説明する。 ・ムリ、ムダ、ムラとは何かを解説する。 ・自分自身やチームの業務改善の目的についてグループで話し合う。 【演習】業務改善の目的検討 (2) 業務改善の取組とその成果 ・改善とは「小さな変化の積み重ね」であることを説明する。 ・業務改善の成果について、経営者の視点と従業員の視点で解説する。 ・DXによる改善事例を紹介する。 (3) 業務の可視化の必要性と可視化手法 ・業務の可視化の必要性について解説し、受発注などの業務部門で活用 される可視化手法として「業務フロー分析」を紹介する。 2 業務改善手法 (1) 業務プロセス上のムリ・ムダの洗い出し		

内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決の7つの手順について解説する。 ・業務プロセス上のムダの洗い出しの着眼点として、「7つのムダ」を解説する。 <p>(2) 問題の発見と改善プランの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標設定においては、数値化が重要であることを解説する。 ・改善の着眼点として「イクルス」を解説する。 ・原因究明の手法として「特性要因図」を解説する。 <p>(3) 対策の立案・実施 【グループワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対策の実施手法として整理整頓の考え方を解説する。 ・ヒューマンエラー対策の要点を解説する。 ・対策の計画立案のガントチャートとその運用方法を解説する。 ・職場にある「ムダ」についてグループワークで抽出し合い、その原因と対策を考える演習を行う。 <p>【演習】ムダの抽出と原因究明・対策立案</p> <p>(4) 改善成果の検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PDCAによる検証と更なる改善の必要性を解説する。 		
実施機関	パナソニックエレクトリックワークス創研株式会社		
定 員	15 名	受 講 料	3,300 円 (税込)
使用ソフトウェア	－ 実施機関・講師からのメッセージ		
持参品等	筆記用具		
備 考	－ 知識やスキルの習得に加えて、職場ですぐに実践できるように、ポイントごとに個人やグループの演習を組み込んでいます。		

2025年度生産性向上支援訓練オープンコース コース案内

主催：滋賀職業能力開発促進センター（ポリテクセンター滋賀）

（問い合わせ先）生産性センター業務課 TEL：077-537-1176

コース番号	029	訓練分野	B.組織マネジメントー組織力強化
コース名	職場のリーダーに求められる統率力の向上		
正式な コース番号・ コース名	25-25-12-061-029 ※リーフレットには「コース番号」は左記の末尾3桁を記載しています。 - ※正式なコース名は、上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。「コース名」は受講者募集用に設定したものです。助成金の手続きの際には正式なコース名を記載してください。		
開催日時	2026/2/6（金） 9：30～16：30（昼休憩 12：30～13：30） 受付開始 9：10 9：20までにご着席ください。オリエンテーションを行います。		
会場	ポリテクセンター滋賀 滋賀県大津市光が丘町3-13 JR石山駅から徒歩10分、京阪唐橋前駅から徒歩5分、無料駐車場有（事前予約不要） TEL：077-537-1176		
対象者	中堅層・管理者層 ●リーダーシップについて学びたい方 ●チームワークを牽引できる能力を習得したい方 ●部下の強みをもっと発揮させたい方		
習得する スキル等	●職場の生産性を向上するために必要となる各種経営組織や形態に対応できる管理機能 ●職位に応じた組織を統率するための能力 ●職場のチームワークを牽引できる能力		
ポイント	職場のリーダーに必要な能力を解説し、チームワークとコミュニケーション、リーダーシップとフォロワーシップ等、統率力を向上させる方法を演習を交えて理解していただきます。		
	<p>1 組織の管理</p> <p>（1）組織マネジメントの基本【セルフワーク/グループワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織とは、5つの管理原則、統率力とリーダーシップなど <p>【演習】組織やチームで働く意味から統率力を考える</p> <p>（2）人の成長の仕組み【セルフワーク/グループワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統率力に必要な人材育成に迷ったときの羅針盤（成人発達心理学） <p>【演習】意識の発達段階の理解</p> <p>2 職場の生産性と統率力</p> <p>（1）変化するリーダーシップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs、EDIに沿ったリーダーとは？ ・従業員エンゲージメント、社員の力を解き放つことの必要性 <p>（2）生産性と統率力向上のカギ【ロールプレイング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産性と統率力向上のカギは共通の考えやメリット <p>【演習】共通の考えやメリットを見出す</p> <p>3 職場の情報伝達</p>		

内 容	<p>(1) アサーティブな情報伝達【ロールプレイング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アサーティブに伝える（事実を基に率直に伝える） <p>【演習】アサーティブなコミュニケーション</p> <p>(2) アサーティブに聴く【ロールプレイング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事実を率直に聴く ・メンタリングを通して気づきや勇気を与える ・傾聴する、共に成長する ・ティーチングのポイントはやりっぱなしにしないこと <p>【演習】傾聴練習、しっかり聴いてフィードバック</p> <p>(3) コーチング【ロールプレイング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指示的にならない指導法で自律的成長をめざす ・GROWモデルで、構想に近づく支援を行う (構想確認、ギャップ把握、選択の議論) <p>【演習】GROWモデルでコーチング体感</p> <p>(参考) アサーティブ</p> <p>「assertive」の和訳は「断定的な」「言い張る」ですが、このコースで学ぶ「アサーティブ」は、自分の言いたいことを一方的に伝えるのではなく、相手の気持ちや考えを尊重し、自分の気持ちや考えを相手にまっすぐ伝わるよう適切に表現する、自分も相手も尊重するコミュニケーションの方法です。</p>		
実施機関	パナソニックエレクトリックワークス創研株式会社		
定 員	15 名	受 講 料	3,300 円 (税込)
使用ソフトウェア	実施機関・講師からのメッセージ		
持参品等	筆記用具	知識やスキルの習得に加えて、職場ですぐに実践できるように、ポイントごとに個人やグループの演習を組み込んでいます。	
備 考	-		